

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	近文第2支線
-----	----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 2 5 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 6 , 7 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		2 8 , 7 3 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 8 4 , 9 9 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 , 5 6 1	用水機能が向上し、被害防止(干害、冷害)及び作付増に伴う収量増 対象作物: 水稲
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 , 8 2 4	用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物: 水稲
	維持管理費節減効果	1 , 7 0 7	用水路整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設: 用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 , 6 7 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設: 用水路
計		2 6 , 7 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	豊畑 2 期
-----	----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 0 3 , 0 7 9 千円	
年 効 用		9 4 , 0 5 5 千円	
廃 用 損 失 額		7 8 , 2 6 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 8 2 1 , 8 3 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 9 , 6 6 0	排水機能が向上し、水害防止及び作付増に伴う収量増 対象作物：馬鈴薯、小豆、大根、南瓜、メロン、スイートコーン、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 9 , 3 2 5	用水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、馬鈴薯、小豆、大根、南瓜、メロン、スイートコーン、牧草、デントコーン
	維持管理費節減効果	3 9 , 4 0 6	排水路整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 4 , 8 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	8 5 3	動植物の生息に配慮した整備を行うことによる、豊かな生態系の保全
計		9 4 , 0 5 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	北海道	地区名	生田 2 期
-----	------------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 0 3 , 4 3 7 千円	
年 効 用		3 9 , 7 7 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 0 7 , 6 8 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 6 , 7 8 2	排水機能が向上し、被害防止、立地条件好転による収量増 対象作物：水稲、てん菜、小豆、馬鈴薯
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 , 6 1 6	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、てん菜、小豆、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	6 , 2 0 8	排水路整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 2 , 1 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		3 9 , 7 7 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	秋田県	地区名	西目
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 3 6 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 8 , 7 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		1 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 1 1 6 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 6 1 , 3 5 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 8	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の削減	維持管理費節減効果	3 , 6 9 6	水管理施設の更新に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 5 , 0 6 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、水管理施設
計		1 8 , 7 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業水利施設緊急更新整備事業	都道府県名	秋田	地区名	大 森
-----	----------------	-------	----	-----	-----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 2 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 3 , 3 9 4 千円	
廃 用 損 失 額		5 , 9 6 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 7 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 9 0 , 2 3 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6 , 7 9 4	用水施設の更新に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場・調整ゲート
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	2 6 , 6 0 0	老朽化した施設の更新による従前の農業 生産の維持 対象施設：用水施設・調整ゲート
計		3 3 , 3 9 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	県営かんがい排水事業	都道府県名	茨城県	地区名	倉掛
-----	------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		265,000千円	
年 効 用		20,511千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		20年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0745	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	275,315千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1,890	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水ポンプ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	18,621	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水ポンプ
計		20,511	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	早井
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 9 2 , 2 5 0 千円	
年 効 用		6 8 , 8 0 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 8 8 , 6 2 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 9 , 9 5 0	施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場, 用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	4 8 , 8 5 1	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：揚水機場, 用水路
計		6 8 , 8 0 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	栃木県	地区名	川島堰
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 3 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 3 , 6 7 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 8 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 7 9 , 6 7 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理節減効果	1 2 , 5 3 3	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：堰、揚水機場
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	9 4 1	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：堰
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	2 0 2	魚類の生息環境に配慮した魚 道設置による水辺環境の保全 対象施設：堰
計		1 3 , 6 7 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	長野県	地区名	塩川
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 6 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 7 , 3 2 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 2 4 , 4 5 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費・維持管理費の節減	維持管理費節減効果	1 1 , 1 1 7	用排水施設の改修による施設の維持管理費の節減 対象施設：幹線用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 5 , 8 3 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：幹線用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	3 7 6	用水路の一部を石積水路にすることによる水辺環境の保全 対象施設：幹線用水路(ホタル水路)
計		2 7 , 3 2 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	新潟県	地区名	蓮野
-----	------------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 2 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 7 , 2 9 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 3 9 , 1 1 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 4 8 7	水田の乾田化等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 , 5 5 3	乾田化及び湿害による臨時防除の労働時間の短縮 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	1 7 4	施設更新による維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1 , 0 8 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		1 7 , 2 9 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	富山県	地区名	南保
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		336,000千円	
年 効 用		19,314千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0536	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	360,336千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,014	水田の用水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：大豆、さといも、なす、トマト、スイカ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	437	用水路の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	17,049	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	814	用水路の一部区間に多自然型護岸（魚巢ブロック等）を設置することにより生態系を保全 対象施設：用水路
計		19,314	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	石川県	地区名	中村用水第2 二期
-----	----------	-------	-----	-----	--------------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		10,311,210千円	
年 効 用		829,672千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0750	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	11,062,293千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	12,217	排水性の向上による転作物等の作付面積拡大 対象作物：大豆、トマト、きゅうり
営農経費の節減	維持管理費節減効果	70,088	施設の改良等に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	302,787	老朽化施設の更新に伴う従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域排水効果	444,580	排水施設が更新されることにより、集水区域内の雨水の速やかな排水を促し被害を軽減 対象施設：排水路
計		829,672	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	福井県	地区名	春江北部
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		13,215,000千円	
年 効 用		805,050千円	
廃 用 損 失 額		141,116	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0581	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	13,719,914千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	20,853	水田の用水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大麦、大豆、トマト、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	46,851	用水施設の改良に伴い水管理が合理化する等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大麦、大豆、トマト、キャベツ
	維持管理費節減効果	60,028	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	677,318	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		805,050	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	岐阜	地区名	牧田川用水
-----	----------	-------	----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 7 2 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 8 , 2 1 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 1 9 , 6 2 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 , 5 6 5	水管理施設の改良による単収の増加 対象作物：水稲
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 6 , 9 5 4	水路改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 7 , 4 0 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	2 9 0	用水路の一部を魚類の生息環境に配慮した構造にすることによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
計		3 8 , 2 1 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	三重県	地区名	宮川2工区
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 , 3 9 8 , 3 0 1 千円	
年 効 用		6 0 0 , 5 1 3 千円	
廃 用 損 失 額		1 1 5 , 1 2 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 1 , 0 8 8 , 4 7 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 0 , 8 9 3	水路改修に伴う水田汎用化による 作付面積の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、キ ャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2 , 5 7 7	水管理施設の改良に伴う用水管理 時間の軽減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	8 5 , 2 9 6	水路改修に伴う施設の維持管理費 の節減 対象施設：用水路
施設更新による従 前の農業生産の維持	更新効果	4 2 2 , 9 0 3	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の 保全・向上	安全性向上効果	2 , 1 8 0	水路改修に伴い社会的要請のある 区間を暗渠化することによる安全 性向上 対象施設：用水路
	公共施設保全効果	2 4 , 8 8 3	水路改修に伴う公共埋設施設の更 新 対象施設：水道等公共施設

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	水辺環境整備効果	1 , 7 8 1	水路改修等に伴い周辺の景観や親 水性に配慮することにより水辺環 境を保全、創造 対象施設：用水路
計		6 0 0 , 5 1 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	岡山県	地区名	小田大野
-----	----------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 2 5 2 , 9 6 0 千円	
年 効 用		1 7 5 , 0 4 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 3 9 2 , 4 2 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

２．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 5 , 6 9 7	水田及び畑の用水排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、とまと、きゅうり
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 5 , 3 2 9	区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、たまねぎ、きゅうり
	維持管理費節減効果	1 , 8 8 3	用水施設の廃止、新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：揚水機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 1 0 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	公 共 施 設 保 全 効 果	1 7 , 9 3 9	用水施設の新設に伴う一般道の耐用年数の増加
	河 川 流 況 安 定 効 果	4 , 0 8 8	水源開発に伴うほ場からの河川還元水の増加
	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 7 7 7	ダム(関連事業)の新設に伴う親水空間の創出
計		1 7 5 , 0 4 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	熊本県	地区名	白水
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		303,000千円	
年 効 用		17,132千円	
廃 用 損 失 額		21,868千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	316,041千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,027	用水施設等の廃止、新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、管理用道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	15,105	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、管理用道路
計		17,132	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	熊本県	地区名	新牟田
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,680,000千円	
年 効 用		118,142千円	
廃 用 損 失 額		90千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0669	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,765,859千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	66,317	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大及び作物の単収の増加 対象作物：水稲、イ草、トマト、たばこ
営農経費の節減	営農経費節減効果	783	排水改良による水稲の水管理作業時間の短縮 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	4,124	排水施設の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：排水機場、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	493	排水路の改修による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域排水効果	54,656	排水機場の設置による農業用施設等の被害の防止 対象施設：排水路、農道、ハウス
	公共施設保全効果	17	公共施設の更新に伴う従前の機能の維持 対象施設：一般道路
計		118,142	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	宮崎県	地区名	城平
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		113,400千円	
年 効 用		6,695千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	126,799千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.11	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3,164	用排水施設等の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,531	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、ゲート
計		6,695	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	竹山
-----	----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 0 9 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 2 , 6 5 2 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 2 5 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		1 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 1 2 5 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 1 7 , 6 1 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理節減効果	6 , 0 0 9	水管理施設等の改修に伴う補修費等の維持管理費の節減 対象施設：ダム
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 6 , 6 4 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：ダム
計		5 2 , 6 5 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	幕内（１期）
-----	----------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		５，４６０，０００千円	
年 効 用		２７３，５６０千円	
廃 用 損 失 額		２，８５９千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		５０年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）		０．０４８４	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	５，６４９，２０７千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．０３	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	２１０，２９２	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、馬鈴薯、パイナップル
営農経費の節減	２５，８０８	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび
	７，７０１	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：ファームホート、揚水機場、送水管、畑かん施設等
施設更新による従前の農業生産の維持	４８９	既設の給水所等の改良による従前の農業生産の維持 対象施設：給水所
施設更新による災害防止	３，１９３	農地等からの土砂流出防止
地域の生活環境の保全・向上	３２，３５５	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：集水池、浸透池
	８８０	畑かん施設が防火用水としての機能を有することによる防火水槽の設置費用節減

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	安全性向上効果	1 , 4 8 4	貯水池等にフェンスを整備すること によって安全性を向上
	公共施設保全効果	6 , 7 6 0	管路埋設により、道路（旧施設）が 持つ従来の機能の維持
計		2 7 3 , 5 6 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	伊是名東部
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 , 3 3 7 , 3 4 0 千円	
年 効 用		4 5 4 , 2 7 1 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 , 3 9 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 8 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 , 2 8 8 , 4 3 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 6 8 , 0 2 0	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、マンゴー、小菊、にがうり等
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 , 7 3 7	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の増加 対象作物：さとうきび等
	維持管理費節減効果	1 6 , 3 4 3	施設整備による維持管理費の増加 対象施設：畑かん施設等
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 , 3 3 1	沈砂池の改良による従前の農業生産の維持 対象施設：沈砂池
計		4 5 4 , 2 7 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	雄樋川（１期）
-----	----------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		４，２００，０００千円	
年 効 用		２４０，０００千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		５７年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０４６５	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	５，１６１，２９０千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．２２	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	２４３，９２７	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：ゴーヤー、マンゴー、小菊等
営農経費の節減	営農経費節減効果	６，３８０	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび、きゅうり、トマト
	維持管理費節減効果	１３，０６５	施設整備による維持管理費の増加 対象施設：畑かん施設
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	２，７５８	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：貯水池
計		２４０，０００	